

令和6年度版武蔵野市の環境保全（案）に対する事前質問と回答

No	頁	項目	ご質問/ご意見	回答
1	9	ワークショップ開催	都内の各自治体では市民への環境教育を担う『環境ボランティア制度』も数多く見られるのですが、貴市では同様の制度はお持ちなのでしょうか。市民団体に包括されているものとの理解で宜しいでしょうか。	エコreゾートではサポーター制度を採用しており、サポーター登録をいただいた方に、施設運営や市主催事業などへ参加・参画いただいています。また、市では、市民団体が実施する環境啓発活動について、ワークショップや環境フェスタなどの出展者公募による活動機会の創出、広報支援、補助金制度などにより主体的なボランティア活動を支援しています。
2	9	環境指標0-1 環境啓発施策への満足度	「わからない」の割合が58.0%となっている理由の一因として、エコreゾートでのイベントに参加したことのある人は具体的に満足度を回答出来たとしても、参加したことのない人は「わからない」との回答になるのではないかと考えられます。イベントに出掛けることがない市民も多くいることから、～あらゆる人を環境の当事者に～との前提に対して、環境啓発施策としては、むさしの市民エコアクションやエコポイントの説明会をコミセンや学校を巡回して開催する等の、出前の対面での啓発活動を地道に行うことが必要ではないかと考えます。	エコアクション発行時にはコミセンにおける展示の実施等を行いました。実践と定着化するための更なる一押しとして、むさしのエコポイント事業を実施しているところです。 また、ご希望があればエコアクションやエコポイントを含む環境に関して出前講座を行っています。 今後も様々な機会を捉えて啓発活動を行ってまいります。
3	9	環境指標0-3 むさしのエコreゾート(中略)ワークショップ開催の割合	表現方法ですが、円グラフで割合を示すよりも、縦棒グラフでワークショップ件数を実施団体別に横並びで示した方が件数の比較で分かり易いと思います。	団体別で示すとなると数が多く、見づらくなってしまうため、割合の円グラフを採用いたしました。資料送付時から指標を連携先の割合という形に変更いたしましたのでご確認ください。
4	10	家庭向け再エネ電力切替	オール東京62では再エネ電力切替がCO2削減に反映されないものとなっておりますが、貴市独自の取組の参考値として、環境指標1-1の表（家庭部門における排出量推移）の中に参考値として件数と排出量削減値を追記されるのも良いかと考えます。 （全体では比率は低いと思いますが、貴市のお取組みの成果としてのご記載）	指標1-1の表ですが、最新のデータが令和4年度で、市が実施した再エネ電気切替協力金の事業が令和5・6年度の単年度事業であることから、表には掲載できませんでした。件数や排出抑制の見込みは「方針別の主要な施策の成果」または事業番号39をご覧ください。

令和6年度版武蔵野市の環境保全（案）に対する事前質問と回答

No	頁	項目	ご質問/ご意見	回答
5	10	環境指標1-1、1-2 武蔵野市内の(中略)における二酸化炭素排出量	表現方法ですが、数値の表は分かり難いので、家庭は二酸化炭素排出量の縦棒グラフと市民1人当たり二酸化炭素排出量の折れ線グラフを重ねて示し、家庭以外の各部門は廃プラスチック類の焼却に伴うCO ₂ を含めた二酸化炭素排出量を縦棒グラフで示す方が分かり易いと思います。 尚、各グラフの数値表は巻末に集約し、グラフの下に巻末の数値表の参照頁を示す様にすれば、本文頁がすっきりして、読み易くなると思います。	令和5年度版までは表に対応するグラフを挿入しておりましたが、内容が重複するため、より情報を記載できる表を採用しました。引き続き見やすくデータを表示するよう心掛けてまいります。
6	11	排出量実績の対前年Upに関して	家庭用が削減（▲8千t）の一方業務用が上昇（+29）したことで全体で上昇したことに對してどのように捉えられていますでしょうか。（大型小売店への市内外顧客の来訪増加など）	業務部門については、令和4年度はコロナ禍が明け、経済が回復したことが大きな要因と思われますが、引き続き今後の実績を注視していく必要があると考えています。
7	11	<参考> 武蔵野市内の二酸化炭素排出量の現状予測	説明文がありませんが、このグラフは市民に対して重要な環境啓発情報だと考えます。 連日の酷暑で温暖化を食い止める必要性を感じている市民も多いと思いますので、現状の二酸化炭素排出量の水準が問題であることを的確に示す必要があると思います。 その為には、2021年度の排出量から根拠不明の直線を引いて2030年度の排出量予測を示すよりも、基準年度の2013年度排出量から2030年度の間目標値に直線を引いて、2020年度や2021年度が排出量の削減必要量に対し未達になっていることを示す方が、市民に現状の問題をより分かり易く認識して貰えると思います。	現状予測値は「オール東京62市区町村共同事業『みどり東京・温暖化プロジェクト』」の算定ファイルの推計値を記載しております。市民により削減の必要性が伝わりやすいよう、引き続き見やすくデータを表示するよう心掛けてまいります。
8	13	ごみ発電の地消率	変動は▲0.8%程度と微小ではありますが、今後自己託送による他公共施設（特に週末に電力負荷がある施設）への利用で地消率の上昇の余地はあるのでしょうか。	P41 事業番号46「公共施設における電力最適化の検討」の中で自己託送先の変更・拡大について検討した結果に基づき、現在、最適な自己託送先について検討しております。

令和6年度版武蔵野市の環境保全（案）に対する事前質問と回答

No	頁	項目	ご質問/ご意見	回答
9	16	環境指標3-3 緑化・水辺空間に関する施策への満足度	令和4年度から令和6年度に『満足』の割合が低下していますが、令和4年度と令和6年度の緑被率と相関関係があるのか教えてください。	緑化・水辺空間に関する施策への満足度に関して、令和6年度調査では『満足』の割合が低下しておりますが、緑被率の調査は5年毎に実施しており、平成28年度と令和6年度の調査の比較では0.1ポイント上昇しており、直接の相関関係はないものと思われます。
10	16	街路灯のLED化	事務事業編の排出量の対象になるかと思いますが、約400基の切替で概ねどの程度のCO ₂ 排出量削減に寄与されたのでしょうか。また後述p89の中でR6実績19,131tに占める割合はどの程度となりますでしょうか。	試算では、400基の切替で286.3t-CO ₂ （令和5年度101.7t-CO ₂ 、令和6年度184.6t-CO ₂ ）の削減が見込まれています。 ※現状、実績値を把握することが難しく、事務事業編の排出量実績には計上されておりませんが、市域の業務部部門には反映されているものとして認識しています。
11	89	事務事業編排出量推移	2030年目標の▲40%に対して、2024年度で既に▲37%を達成されていることに感銘を受けました。 再エネ電力の精力的な導入が大きな要因と理解致しました。一方で今後のクレジット（非化石証書やJクレジット）の今後の動向（証書量や価格）をどのように捉えられてますでしょうか。	今後も引き続き再エネ電力の調達やごみ発電の電力の地消率の向上を図っていく考えですが、クレジットについては、コストも踏まえつつ森林環境譲与税を活用しながら購入を検討していく予定です。
12	25 87	エコオフィスむさしの活動 グリーン購入の推進	グリーン調達は国内では公共施設から（国、都道府県、市区町村）率先してその比率を高めることを求められていると思います、武蔵野市では現状グリーン購入比率は何パーセント程度となっているのでしょうか。	令和2年度まで購入実績を調査してきましたが、本市の実績は高い水準を保っており、グリーン購入が職員に広く浸透してきたと考えられるため、現在、グリーン購入の実績は把握しておりません。